

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第34週（令和5年8月21日～令和5年8月27日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第34週は、梅毒の報告が21件ありました。第34週までの累積報告数は562件で、昨年同時期（339件・速報値）より約1.7倍多く、過去最高だった昨年度を上回るペースで感染が拡大しています。梅毒は、感染後3週間程度で性器や唇等のしこりやただれといった症状が現れますが、治療をしなくても一旦症状が軽快します。しかし、その間も病原体は体内に潜んでいるため、他の人にうつす可能性があり、また、数か月後には全身に症状が現れるようになります。気になる症状がある場合は早めに受診し、治療を受けることが大切です。症状の写真などの詳細は福岡県HP「【注意！】梅毒の感染者が例年に比べてとても増えています（症状に関する写真も掲載しています）」（<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/baidoku2018.html>）をご覧ください。
- 福岡県感染症情報ホームページ（http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/）では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	19	386	230	8,732
腸管出血性大腸菌感染症	6	98	131	1,943
レジオネラ症	3	54	34	1,336
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	73	39	1,163
クリプトスポリジウム症	1	2	1	6
後天性免疫不全症候群	1	31	9	609
梅毒	21	562	168	9,482

■ 定点把握疾患報告数

 : 警報レベル

 : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	2,997	15.14	1.04	86,756	17.84
インフルエンザ	525	2.65	1.16	4,913	1.01
RSウイルス感染症	106	0.88	1.05	2,492	0.81
咽頭結膜熱	224	1.87	0.99	1,952	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	302	2.52	1.45	2,561	0.83
感染性胃腸炎	433	3.61	1.29	6,579	2.13
水痘	6	0.05	0.30	289	0.09
手足口病	372	3.10	1.61	2,239	0.73
伝染性紅斑	2	0.02	-	30	0.01
突発性発しん	48	0.40	1.66	603	0.20
ヘルパンギーナ	288	2.40	1.70	2,873	0.93
流行性耳下腺炎	5	0.04	1.67	109	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	4	0.01
流行性角結膜炎	20	0.77	2.50	325	0.47
細菌性髄膜炎	2	0.13	-	10	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	20	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	13	0.03
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。